

義肢装具士に役立つ介助動作 第2弾

～より実用的な介助動作を～

主催 一般社団法人 日本義肢装具士協会
東日本支部研修委員会

臨床の場において採型・採寸・適合などを行なう際に患者を移動させなければいけない状況があると思います。あなたは安全な方法で介助することが出来ますか？

前回セミナーでは片麻痺患者をメインに想定した介助動作のセミナーを行ない、実際に身体を使って学べわかり易い等の好評を得て、このたび第2弾を行なうことにしました。

今回は、「胸椎圧迫骨折」「腰椎圧迫骨折」「下肢の骨折」などの外傷による疾患を中心に、これらに対する介助動作を学んでいただきたいと思いますと考えております。

前半は介助動作に必要な体の使い方、患者の扱い方など、基礎の部分を学んでいただき、後半では「胸椎圧迫骨折」「腰椎圧迫骨折」「下肢の骨折」などの外傷系疾患の寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗などの介助動作を実際に目で見て、体を使って体感して学んでいただきたいと思いますと考えております。

講師についても助手を含め3名でセミナーを進めていただきます。わかり易いテキストを使い、介助動作の講義から実技デモンストレーションを交え、手とり足とり教えていただきながら3人1組のグループで実習を行います。コ・メディカルスタッフの一員として見よう見まねではなく、正しい知識と技術を学び応用力を身につけるとともに患者の気持ちが少しでもわかるようになることで業務の一助になればと考えております。皆様の参加をお待ちしております。

記

- 到達目標 : ①基本的な介助動作の正しい知識と技術の習得。
②外傷系疾患の介助動作を学び臨床で必要な知識と技術の習得
③グループ内で患者役、施術者役を体感してもらい、応用力を身につける。
- 講 師 : 吉田 一也先生(人間総合科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻 助教)
武田 純一先生(なかじま整形外科・小児科クリニック)
樋口 翔太先生(なかじま整形外科・小児科クリニック)
- 内 容 : ①介助動作での体の使い方、患者の扱い方の講義及び実習
②胸椎圧迫骨折等、外傷系疾患についての寝返り、起き上がり、立ち上がりなどの介助動作の講義及び実習
③3人1組で患者役、施術者役のグループ実技
- 日 時 : 平成 27 年 10 月 4 日 (日) 9:00～16:00 (予定)
- 会 場 : 人間総合科学大学鍼灸医療専門学校 (予定)
(東京都新宿区西早稲田 3-18-4)
- 定 員 : 45 名
- 参加費 : 正会員¥3,500 - 学生会員¥1,500- 非会員¥7,000- (要資格)
- 締 切 り : 平成 27 年 9 月 3 日 (水)

以上

【注意事項】

※当日は、実習を行ないますので動きやすい服装でお越しください。よろしくお願いいたします。

参加ご希望の方は必要事項（会員非会員の別、会員番号、氏名、勤務先、連絡先住所、電話番号、FAX番号）をご記入の上、FAX または E-mail にて下記申込受付先までお送りください。

※FAX でのお申込みの場合、「日本義肢装具士協会 研修セミナーFAX 申込書」をご使用ください。

【 問い合わせ・申込み受付先 】

一般社団法人 日本義肢装具士協会 東日本支部事務局
人間総合科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻内

FAX : 048-758-7110

E-mail : poae.kensyu@gmail.com

事務局担当：富永 修一

セミナー幹事：小池 誉士憲

